

学校関係者評価委員会報告書

学校法人瓶井学園日本理工情報専門学校は、令和2年度学校自己点検・自己評価結果に基づいて、令和3年4月3日に学校関係者評価委員会を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

令和3年4月5日
学校法人瓶井学園
日本理工情報専門学校
学校長 瓶井 修

1. 学校関係者評価委員

氏名	所属	種別
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所 代表	企業等委員
蔵敷 重壽		元高等学校校長
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合 青年部顧問	業界団体
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社	卒業生／企業等委員
増南 正	有限会社スタジオ・マックス代表取締役	卒業生／企業等委員
篠原 史規	有限会社車楽工房	企業等委員
宮崎 吉雄	トナミ電工株式会社取締役会長	PTA／企業等委員
中野 聡	株式会社ジェイファスト	企業等委員

2. 議事報告

項目	評価・意見
(1)教育理念・目標	学校の理念・目標について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 職業実践教育協定書を締結する企業が年々増加しており、実社会を知ることのできる職業教育が引き続き行うことができていると判断されました。
(2)学校運営	現理事長が引き続き職務を再任されており、運営組織や意思決定機能が有効に機能していると言える。 「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」について、適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。ホームページにおいて、引き続き「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行っており、「学校案内」、「募集要項」についてはホームページでも閲覧できるようにしている。学校案内等については、より職業がイメージできるように「わかりやすさ」「内容の充実」を意識して常に見直しが必要であるという意見があり、今後とも見直し・検討を実施していくことになった。 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。

	<p>成績証明書発行、卒業証明書発行、卒業台帳の作成、卒業証書の発行等の業務のデータ化が整備され効率化が図られているが、引き続き個人情報漏えい防止に関しては十分注意し管理体制を細部にわたり強化を継続していく必要があるとの意見で一致した。また、増加傾向にある留学生についての学生管理については、より注意深く確認する必要があるとの意見で一致した。</p>
(3)教育活動	<p>「教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか」、「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>特にコロナ禍の中で登校が困難にある状況下においてオンライン等で教育コンテンツを広げる取り組みには一定の評価を得ることができた。この取り組みについては、コロナ禍収束後においても新たな学び方として可能性があるため、引き続き取組みを継続する必要があるということ意見が一致した。</p> <p>また、「成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明確になっているか」については、引き続き成績評価方法を5段階評価としており、より明確な評価を明示できるようになることに関しては引き続き良い評価を得られています。</p> <p>「関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成などの資質向上のための取組が行われているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>オンラインによる研修機会が増加しているため、この取組みについての機会創出が期待できると判断されました。</p>
(4)学修成果	<p>「資格取得率の向上が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>資格取得率の向上には、重点的に取り組んでいる。2級ガソリン自動車整備士国家資格については、合格率100%を達成した。第一種・第二種電気工事士国家資格については、土曜日に国家資格受験対策を集中的に実施することにより試験合格の成果を得ている。また、資格試験への受験率に関しても、学生への資格取得の重要性を理解させる等で改善していく必要があるという意見があり、受験率向上に努力することになった。</p> <p>工事担任者 DD 第一種の養成課程を電気デジタル情報科、電子・情報工学科に対し開講し100%の取得となった。</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」、「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>引き続き卒業生の就業先企業等との産学連携の理解・協力を得ており、在校生の就職にもつながっている。</p> <p>ただ、今般の状況を鑑みて、就職への意識づけの時期を早期化することを検討することとした。</p>
(5)学生支援	<p>「進路・就職に関する支援体制は整備されているか」、「学生に対する経済的な支援体制は整備されているか」の2点について適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>昼間部、夜間部とも専門実践教育訓練給付制度の対象学科であること</p>

	<p>に加え、高等教育の修学支援新制度の対象機関にもなっており教育機会の拡充を図ることができている。</p> <p>また、今年度は企業との奨学金制度の共同実施も締結し、より一層拡充を図ることができた。</p> <p>引き続き、留学生を受け入れてもらえる企業の開拓に力をいれ、今年度も新しく数社が留学生の受け入れをしていただいた。</p> <p>成績・出席の状態について学級担任より保護者に連絡しており、特に成績・出席の状態が芳しくない学生の保護者に対しては詳しく状況を説明し、懇談を行うなど適切に対応している。</p> <p>今年度においては、新型コロナウイルス対策における助成金や給付金の受給機会が失われないように注視しており、「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」、「学生への生活環境への支援は行われているか」、「保護者と適切に連携しているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p>
(6)教育環境	<p>「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」について、ほぼ適切、「防災に対する体制は整備されているか」について、適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>新型コロナウイルス対策としてアルコールの設置や換気の徹底等の対策をとり、できるだけ安心して授業を受講できるように体制づくりを図った。</p> <p>非常時における教職員の役割分担を決め、適切な誘導ができる体制をとり、適時訓練の実施をおこなっている。</p>
(7)学生の受入れ募集	<p>全職員が意識を持って受入れ募集にあたる。</p> <p>引き続き、本校独自の奨学金制度を利用してもらい、保護者の負担感を考慮するよう努める。</p> <p>YouTube等の動画に加え、Facebook等のSNSを利用し学校の情報できるだけ発信している。HPにおいては「わかりやすさ」「内容の充実」を継続して図っていく。</p> <p>学校案内に3つのポリシー（募集方針・教育目標・到達目標）を公表し、求める学生像を明確にしたことで、「学習募集活動において、教育成果を正確に伝えられている」ことにおいては、一定の評価を得ることができた。</p>
(8)財務	特に問題なし。
(9)法令等の遵守	<p>「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」についてほぼ適切、「自己評価結果を公開しているか」について、適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>自己点検・自己評価を実施し、問題点の改善に取り組んでいるが、点検項目については今後も検討を重ねていく。</p> <p>ホームページにて「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行っている。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>ボランティア活動を奨励しているが、参加者が少なく、普及活動の強化が必要である。</p> <p>大阪府の離職者等再就職訓練 を開講している。</p> <p>引き続き大阪市リハビリテーションセンターと講師派遣において提携している。</p> <p>その他は特に問題なし。</p>

<p>(11)国際交流</p>	<p>「学習成果が国内外で評価される取組を行っているか」について、留学生のみ対象の入学前オリエンテーションの実施し、受入れ体制を整えていることも踏まえて、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>日本学生支援機構 外国人留学生学習奨励費 職業実践専門課程特別枠として7名の推薦依頼を受けることができ、社会的にも一定の評価が得られていると判断できるとの意見が一致した。</p>
-----------------	---